

私たちに

できること

《たいみ子ども会議》

意見書

おの子ガラの

S O S

～私たちに
できること～



平成 23 年 3 月



♡もくじ♡

♡はじめに

1. 意見

2. 「できること」宣言

3. その他

たじみ子ども会議子どもスタッフ名簿

はじめに

多治見市には、「多治見市子どもの権利に関する条例」があります。

子どもの権利とは、

①のしくくらす権利

②ぶんをたいせつにする権利

③みんなとなかよくする権利

の３つです。

これは、すべての子どもたちが生まれた時から持っている権利です。多治見市は、この条例で子どもの権利を守っています。条例が目指していることは、子どもたちが安心して自分らしくいきいきと生活することができ、色々なことに挑戦しながら、自立した社会性のあるおとなへと成長することです。

子どもの権利は、すべての子どもが持っているものです。自分の権利と同じように他の子の権利を大切に考えてください。子どもの権利の中には、「子どもの意見表明や参加」というものがあり、みんなが心に思うこと、考えていることを安心して自由に表現できます。ただし、上でい、たように相手の権利を害するようなことはいけません。多治見市には、そうい、た意見を出すための場があります。それは「たじみ子ども会議」といいます。そこで出された意見は、どれも大切にされています。たとえどんな小さな意見でもそれはあなたの意見です。

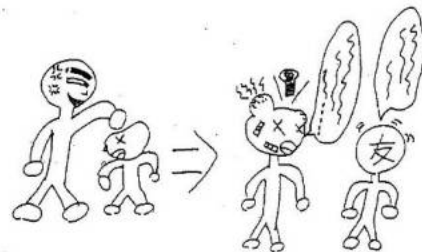
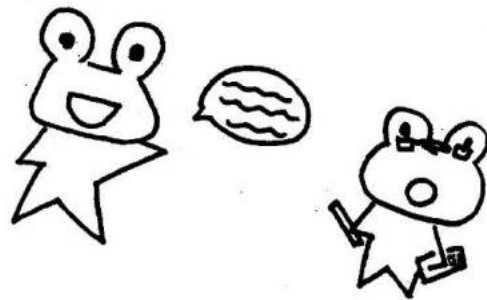
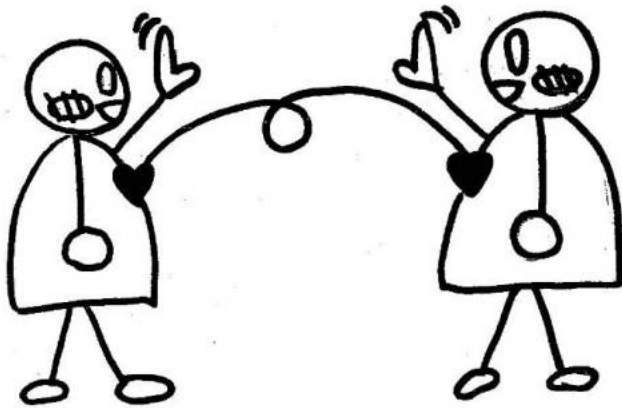
小さいから、で意見を無視したソしません。
「たじみ子ども会議」は人の意見を聞いたソ、
日頃自分が思っていることを話せる大切な
場所です。会議では、みんながし、かりと
話をきいてくれるので思っていることが話
せます。

第13回の今回は、『シリーズつながりVol.9
あの子からのSOS～私たちにできること』
をテーマに話し合いました。

この意見書は、私たち子どもの目線から人
との関係をよくしようとみんなで話し合い
をしてまとめたものです。

この意見書がみんなの①②③を守ることに
つながることを願っています。

1. 意見



理由が あってもいじめは だめ

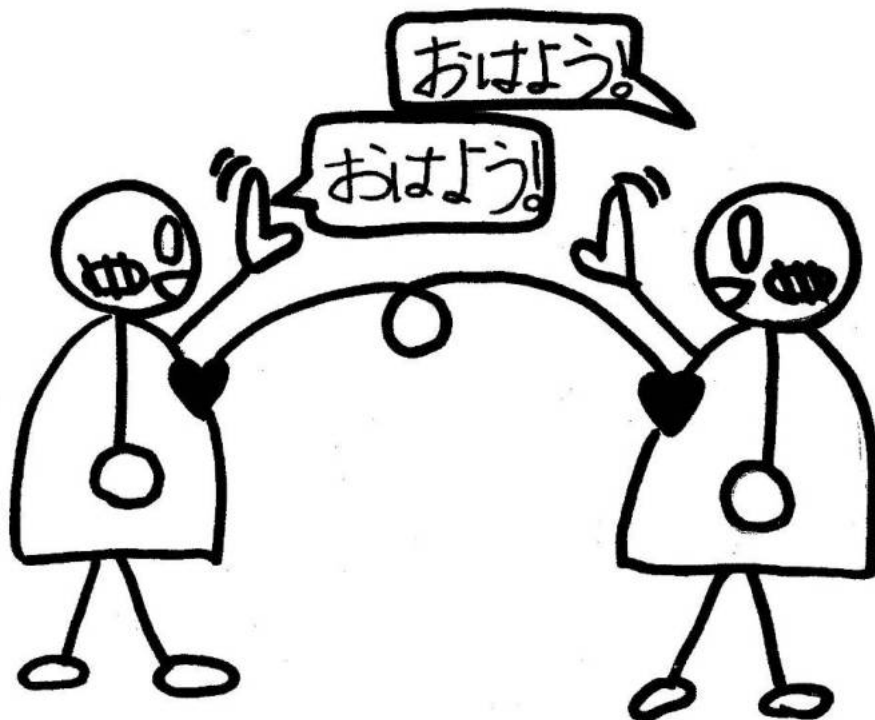
そもそもいじめとは、人の権利の侵害となります。

そのため、どんな理由があってもいじめはいけません。

いじめをしてもいじめをするき、かけとなつた理由が解決するわけではないし、別にわざわざいじめで伝えなくとも直接口で伝えたり、非暴力的な方法で伝えれば新たな問題にならないし、友好関係が築けると思うからです。

相手を知ろう、 理解しよう!

あいさつなど、小さな声かけからはじめて
コミュニケーションをとることで、相手の
ことを知り、理解し合えるようにする。
もし、その先いじめにあっても、味方にな
ってくれる人がいて、のりこえられるから。

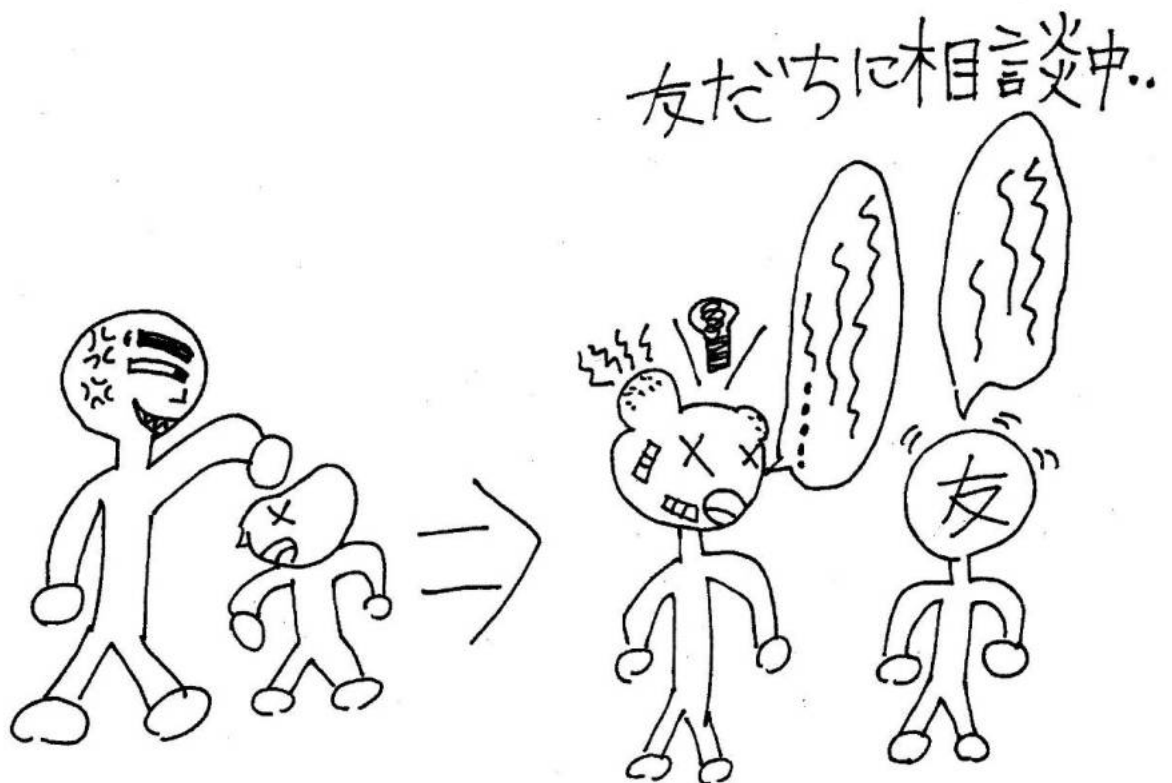


友達に相談しよう。

休み時間などに友達に相談しよう。

・普段から、友達との仲を深めることで何かあったときには、味方になってもらえるからです。

・相談すると悩みを解決するためのいいアイデアがあるかも・・・



差別を しないで

私達子どもは先生達に話を聞いてほしいし、
助けてほしいと思っています。
でも、先生は時々片方の味方をしたり、
生徒によって差別していると感じます。
先生が差別をすると、子ども達もそれと真似
て差別をするかもしれません。
差別はいじめにつながる事があります。
先生ともっと良い関係になるためにも、
差別をしないでほしい。

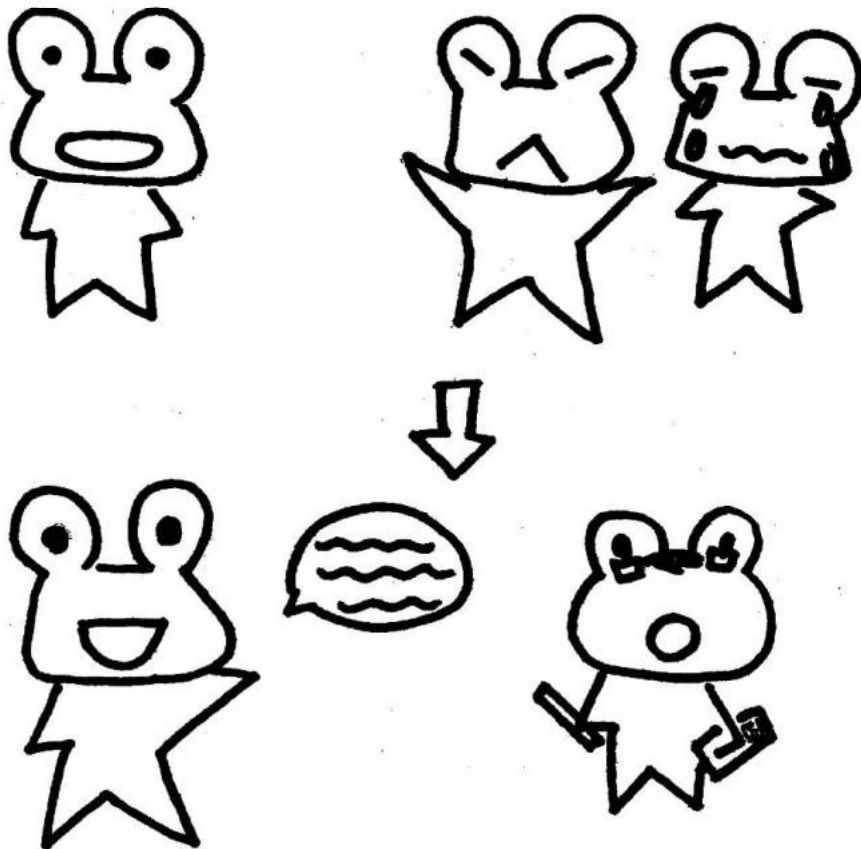


見て見ぬふりを しないで!

いじめには「いじめる人」と「いじめられて
いる人」以外に「見ている人」という
3つの立場の人があります。

「見ている人」は助けないといけなく、そ
れは勇気がいることだけど勇気を出さない
といけません。

見て見ぬふりをしないで
勇気を出して助けよう!



『おとなの人に気づいてほしい。

話を聞いてほしい。

そのために子どもは気持ちを
伝えないといけない。』

これは、おとなの人（先生など）に子どもの
気持ちやいじめに気づいてほしいし、話を
きいて助けてほしいということです。

そして、子どもの思いに合わせて適切な
対処をしてほしいということです。

そのために子どももおとなに子どもの気持ち
やいじめを伝えていかなければいけません。

道徳の

授業を生かそう

「道徳の授業を増やす。」

- 心の森を豊かにするために道徳を増やしてほしい！

心の森とは

- ・ 苦手な人も友達のたじみも大切に
する気持ち
- ・ 人を思いやる結晶
- ・ 相手を尊重する気持ち

「心の森を豊かにする」とは...

- ・ だれしも心の奥底に苗木があっ、こそれを
育てれば育てるほど相手を尊重する気持ち
が大きくなる。

- 道徳の授業をやるときはこういうことを入れ
てください。

ストレートでないいいじめの話合いをする。
理由は、いじめの当事者がいる中で、スト
レートにいじめの話をして、気持ちを素
直に言うことができないから問題解決にな
らないからです。

※「たじみ」とは？

① のしくくらす権利

② ぶんをたいせつにする権利

③ みんなとながよくする権利

2、「できること」宣言

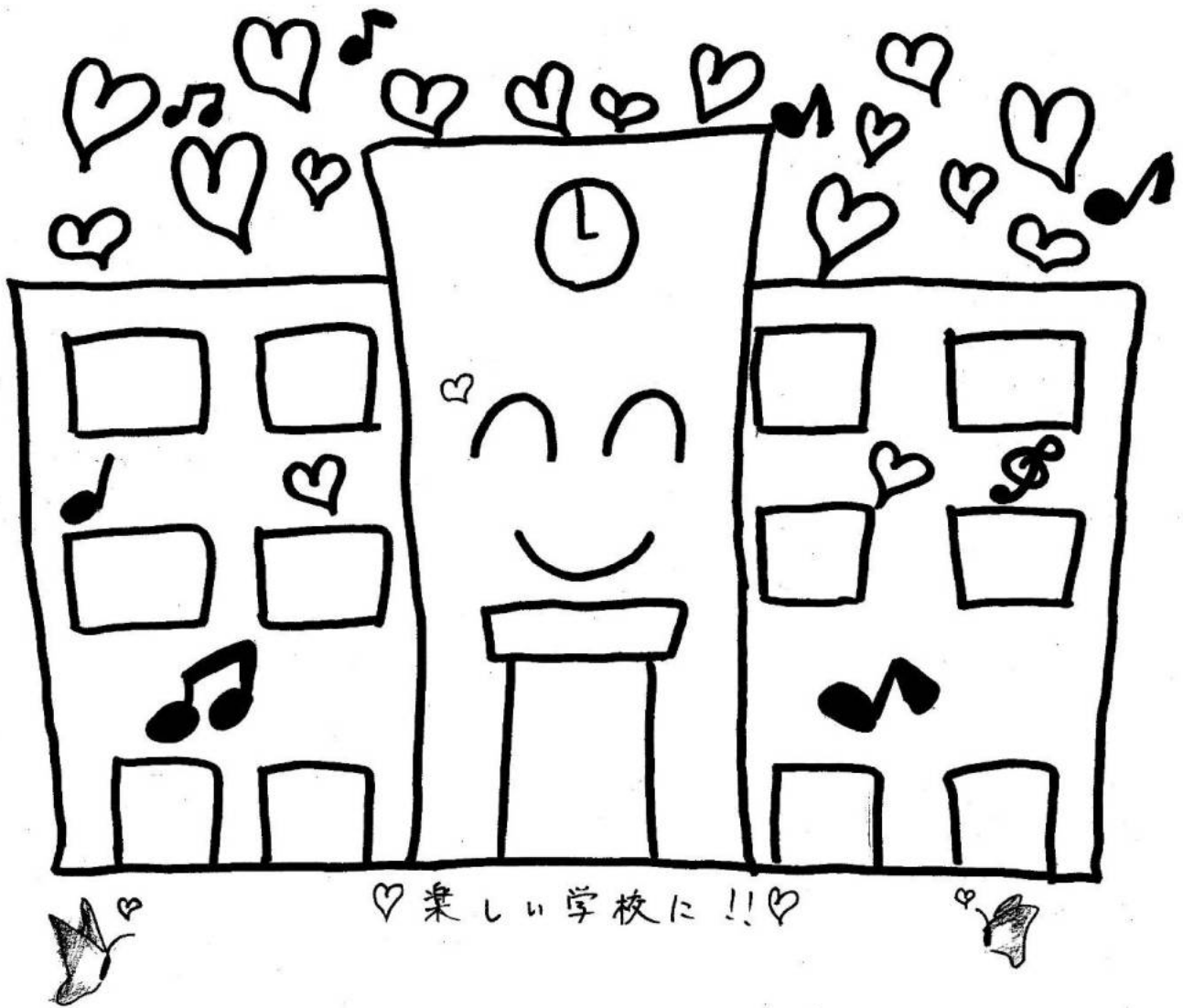


『あの子からのSOS～ 私たちにできること』

- おんなで話しあおう。・話しを聞く。
- ダメンと言えろ素直な気持ち。
- いじめられている子に「大丈夫？」と声をかけて相談にのる。
- こまってる人がいたら自分から自信を持って助けに行こう。
- 話をしっかり聞いてあげる。
- 大人として人間として話を聞く。
- いじめはわっこわらない。いじめを消す。
- 気持ちもぶっつける。自己主張。
- 周りの子の思いを聞く。◦勇気を持つ。
- 一人の子がいたら声をかける。
- 偏見や思い込みにとらわれないで子どもの話を聞いてあげたい。
- いじめをよいことだと思わぬ心を育てる。
- 「あなせは悪くない」「助けてもらってもいい」「弱くないじゃない」と伝える。
- あなせの側にいつもいるよ。
- 一人でいる子に沢山声をかける。
- 困っている人に進んで声をかけ。
- 相談にのる。
- 心にためないうでずっと話しておいてほしい。まっとう聞いてくれる人はいるよ。

※これは、第13回セビオ子ども会議に参加してくれた人の意見です。

3. その他♡



たじみ子ども会議 スタッフ

船戸 杏葉

山口 朱音

佐伯 怜央

岩田 栞史大

青井 里帆

山口 将司

柚木 智宏

杉本 侑織香

林 真帆

鈴木 結惟

山本 果穂

小林 佳世

水野 由里加